

「スーパードッジボール大会」に参加される保護者・引率者様へお願い

皆様こんにちは。

私は、江東区立小学校PTA連合会の会長を務めさせていただいております沼田と申します。
平素より PTA 活動にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。
本日は表題の件につきまして皆様にはお願いです。

今月末より、区内各地区で「スーパードッジボール大会(地区大会)」が行われます。
各校有志のチームが参加し、地区大会を勝ち抜いたチームが来年 2 月の「KOTO チャンピオンズリーグ」へと進むことになります。
この大会は、ドッジボールの普及振興ばかりでなく、子どもたちの体力づくりはもちろん、プレーを通じた「学び」を目的としているため、我々小学校 PTA 連合会も「協力」という形でお手伝いをさせていただいております。

お子様たちの活躍を見守ろうと、当日は会場に足を運ばれる保護者の方も多いかと思えます。
そうした皆様にはお願いです。添付の『スーパードッジボール 5 つの心得』に必ず目を通してください。

近年、江東区内の大会において、「保護者や引率者の参加マナー」が問題になっています。

- 相手チームに対する過剰な暴言(「○番を狙え!」「倒せ! やっちゃえ!」など)
- 審判のジャッジに対するクレーム(過去には 1 時間あまり試合が止まったケースも)
- 鳴り物や団体による大声での応援(審判ジャッジの妨げに)

ドッジボールは熱くなりやすい競技ではありますが、しかし、プレーする子どもたちはともかく、保護者までもがそこに加わるべきでないことは分かっていると思います。

また、勝ち負けにだけにこだわるのではなく、「競技を通じて仲間を、相手を思いやることを学ぶ」こともこの大会の意義です。

もし自分のお子さんが、相手のチームの親御さんから「倒せ! 狙え!」と言われたらどう思いますか? 「それに負けない強い心が大事」という方もいらっしゃるかと思いますが、それがつらくて参加をあきらめるお子さんがいるのも事実です。

『大人が変われば子どもが変わる』。これは小学校 PTA 連合会のモットーです。
仲間や相手を思いやり、審判をはじめ手伝ってくださる方々に感謝をする。こうした気持ちを
子どもたちがドッジボールを通じて身につけてもらう。
そのためにも保護者、引率者の皆様におかれましては、「子どもの手本」という自覚をもってご
参加いただきたく。

誰もが「参加して良かった」「また来年も参加したい」と思えるような大会となりますよう、ご理解
ご協力のほどよろしくお願い申し上げます

江東区立小学校PTA連合会会長
沼田明 拝



すべてのプレイヤー・引率者・保護者に贈る

スーパードッジボール5つの心得

みんなで《より良いドッジボール大会》をつくりましょう！

この心得は、子ども達が一層スーパードッジボールを楽しむために、プレイヤー、引率者、保護者が一体となって環境を整えるルールです。それぞれの立場から、魅力あるスーパードッジボールの環境づくりへのご協力をお願いします。

プレイヤー

引率者

ドッジボール大会

保護者

観客

プレイヤーのための5つの心得

- 1 いつも全力を尽くそう
あなた自身のため、そしてチームのために、いつも全力でプレイしよう。
- 2 ルールや判定にしたがおう
まずルールを正しく覚え、審判の判定にしたがってプレイしよう。
- 3 試合に関係する全ての人に感謝をしよう
相手チーム、審判、家族に感謝の気持ちを持ちましょう。これらの人なくして試合はできません。
- 4 よいマナーを心がけよう
当たり前のことを自然に行えるようになろう。
例えば、会場で自分のゴミを持ち帰るのも一つです。
- 5 学習活動も一生懸命やろう
あなたはまだ小学生です。学習もスポーツと同じくらい一生懸命やろう。

引率者のための5つの心得

- 1 審判の判定を尊重しましょう
わざと間違える審判は絶対にいません。判定へ不満が出た時はフェアプレー精神の大切さを伝えるチャンスです。自身の姿をもって子ども達に教えてあげてください。
- 2 体罰、言葉の暴力は厳禁です
体罰・暴言を根絶しましょう。引率者同士で注意し合える関係づくりに努めましょう。
- 3 子どもの将来を考えた指導を心がけましょう
小学生の時期は、頭も体もおおきに成長します。技術に加え、適切な判断力や行動力、マナーを指導しましょう。
- 4 選手をたくさん褒めましょう
プレイヤーは緊張の中でプレイしています。結果ばかりに注目するのではなく、何かにトライしたことを褒めてあげましょう。
- 5 大切なのは対戦相手です
対戦するのは「敵」ではなく「相手」です。それは応援の方も同じです。勝っても負けても正々堂々と試合に臨んだ相手チームに「ありがとう」の気持ちを持ちましょう。

保護者のための5つの心得

- 1 よいマナーのお手本を示しましょう
保護者のみなさんの日頃のふるまいや応援中の言動が子どもたちのマナーや礼儀に影響します。進んでよいお手本を示しましょう。
- 2 子どもたちを励ましてあげましょう
お子さんが自分の興味を膨らませ、ワクワクしながらドッジボールに参加できるように、たくさん励ましてあげましょう。
- 3 努力の大切さを教えてあげましょう
努力を続けることが、将来的な子どもたちの成長につながります。目先の勝利にこだわることは成功の近道ではないことを教えてあげましょう。
- 4 批判は禁物、思いやりが大切です
お子さんやその仲間達、指導者への批判は、お子さんの成長をさまたげます。思いやりの心をもって、努力や挑戦を認めてあげましょう。
- 5 周囲を敬い、助け合いましょう
チームは子どもを預けるところではなく、ともに子ども達を育てるところです。引率者や保護者の方々と協力し合いましょう。

観客のための5つの心得

- 1 ドッジボールを存分に楽しみましょう
スポーツは楽しむためのものです。周囲の方々と一緒になって会場を盛り上げましょう。
- 2 子どもたちのがんばりを応援しましょう
子ども達が諦めそうになったり、くじけそうになったりした時こそ応援しましょう。プレイヤーはたくさんの応援で輝きます。
- 3 全てのプレイヤーのよいプレイに拍手を
自チーム相手チーム関係なく、プレイヤーのがんばりには惜しみない拍手をおくりましょう。会場の拍手がプレイヤーのエネルギーになります。
- 4 会場のマナーを守りましょう
試合会場は他の団体を含めたくさんの方が使用します。持ち物やゴミの管理に気をつけましょう。応援の皆さんもドッジボールの関係者の一人です。
- 5 家族やお友達をたくさん誘いましょう
ドッジボールが盛り上がるように、たくさんの人を誘ってください。一人一人の声掛けが大きな繋がりを生みます。